

## ※新たに協議会を立ち上げる場合

〇〇〇（協議会名は地域の実情で決める）推進協議会規約（案）

（名 称）

第 1 条 本協議会は、〇〇〇（協議会名は地域の実情で決める）推進協議会推進協議会（以下「協議会」という。）と称する。

（目 的）

第 2 条 協議会は、肥料価格高騰対策事業実施要領（令和 3 年 1 2 月 2 0 日付け 3 農産第 2 1 5 6 号農林水産省農産局長通知。以下「実施要領」という。）に定める事業を実施するにあたり、北海道肥料コスト低減体系緊急転換事業推進協議会（以下「道協議会」という。）からの委託を受け、事業の効率的・適正な推進を図ることを目的とする。

（構 成）

第 3 条 協議会は、次の関係機関をもって構成する。

- 1 〇〇〇町（市）
- 2 〇〇〇農業協同組合
- 3 〇〇〇地区農業改良普及センター

（業 務）

第 4 条 協議会は、第 2 条の目的を達成し、肥料の価格高騰による影響を緩和するとともに化学肥料の使用量の低減を推進するため次に掲げる事業を行う。

- 1 道協議会受託事業  
（申請書類等の書類審査及び現地確認等）
- 2 その他農業経営の体質強化等に関する事業

（役 員）

第 5 条 協議会に会長 1 名、副会長 1 名、監事 1 名の役員を置くものとする。

- 2 会長は、協議会を代表し、協議会の業務を総括する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代理する。
- 4 監事は、協議会の業務及び会計を監査し、総会に報告しなければならない。
- 5 役員の任期は 1 年とする。但し、再選を妨げない。

(総 会)

第6条 協議会は、年1回総会を開催することとし、次の事項は総会に付議し、その議決を経なければならない。

- 1 規約、諸規程の制定及び改正
- 2 事業計画及び予算の決定
- 3 事業報告及び決算の承認
- 4 その他協議会の運営に関する重要な事項

(事務局)

第7条 総会の決定に基づき協議会の業務を執行するため、事務局を置くこととし、〇〇〇を事務局とする。

- 2 協議会は業務の適正な執行のため、事務局長を置くこととし、主たる事務所の所属機関の長とする。

(幹事会)

第8条 業務を適正に執行するため、実務担当者による幹事会を開催し、業務に関する事項について協議するものとする。

(業務の執行)

第9条 業務の執行の方法については、この規約で定めるもののほか、次の各号に掲げる規程によるものとする。

- 1 事務処理規程
- 2 会計処理規程
- 3 公印取扱規程

(会 計)

第10条 協議会の事業年度は、毎年〇月〇日に始まり、翌年〇月〇日に終わるものとし、次の各号に掲げる収入をもって構成する。

- 1 道協議会委託事業費
- 2 その他の収入

(監 査)

第11条 会長は、毎事業年度終了後、次に掲げる書類を作成し、監事の監査を受けなければならない。

- 1 事業報告書
- 2 収支決算書

(報 告)

第 12 条 協議会は、第 4 条第 1 項の事業完了後、速やかに道協議会に対し、事業の実績報告を行うものとする。

(主たる事務所)

第 13 条 協議会の主たる事務所を〇〇〇町(〇〇〇)に置く。

(帳簿等の備付け)

第 14 条 協議会は、主たる事務所に実施要領、道協議会委託事業実施要領及びこの規約で別に定めるもののほか、次に掲げる書類及び帳簿を備え付けておかなければならない。

- 1 協議会規約及び諸規程類
- 2 役員等の氏名を記載した書面
- 3 収入及び支出に関する証拠書類及び帳簿
- 4 その他必要な書類及び帳簿

(細 則)

第 15 条 協議会の事務の運営上必要な細則は会長が別に定める。

附 則

- 1 この規約は、令和〇年〇月〇日から施行する。

## 別紙 1

### 〇〇〇（協議会名は地域の実情で決める）推進協議会事務処理規程（案）

#### （目 的）

第 1 条 この規程は、〇〇〇（協議会名は地域の実情で決める）推進協議会（以下「協議会」という。）における事務の取扱いについて必要な事項を定め、事務処理を適正かつ能率的に行うことを目的とする。

#### （事務処理の原則）

第 2 条 協議会の事務処理に当たっては、迅速と正確を期し、常に関係者間の連絡に遺漏のないように努め、責任の所在を明らかにしておかなければならない。

#### （事務処理体制）

第 3 条 協議会の事務処理については、〇〇〇を事務局責任者とする。

#### （雑 則）

第 4 条 肥料価格高騰対策事業実施要領（令和 3 年 1 2 月 2 0 日付け 3 農産第 2 1 5 6 号農林水産省農産局長通知。以下「実施要領」という。）、北海道肥料コスト低減体系緊急転換事業推進協議会事務委託事業実施要領、協議会規約及びこの規程に定めるもののほか、この規程の実施に関し必要な事項は、会長が定める。

#### 附 則

1 この規程は、令和〇年〇月〇日から施行する。

## 別紙 2

### 〇〇〇（協議会名は地域の実情で決める）推進協議会会計処理規程（案）

#### （目 的）

第 1 条 この規程は、〇〇〇（協議会名は地域の実情で決める）推進協議会（以下「協議会」という。）の会計処理に関する基準を確立して、協議会の業務の適正かつ能率的な実施を図ることを目的とする。

#### （適用範囲）

第 2 条 協議会の会計業務に関しては、協議会規約（以下「規約」という。）に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

#### （会計原則）

第 3 条 協議会の会計は、次に掲げる原則に適合するものでなければならない。

- 1 協議会の会計処理に関し、真実な内容を明瞭に表示すること。
- 2 すべての取引について、正確な記帳整理をすること。
- 3 会計の処理方法及び手続きは、毎事業年度継続して適用し、みだりにこれを変更しないこと。

#### （口座の開設）

第 4 条 協議会の口座は、〇〇〇（金融機関名）の△△△（口座名義）口座とする。

#### （会計年度）

第 5 条 協議会の会計年度は、規約に定める事業年度に従い毎年〇月〇日から翌年〇月〇日までとする。

#### （出納責任者）

第 7 条 出納責任者は、会長とする。

#### （経理責任者）

第 8 条 事務処理規程に定める各事務の責任者は、事務局長とする。

(会計帳簿)

第9条 会計帳簿、記帳整理の方法等については、事務局を置く機関・団体の規程の例によるものとする。

2 会計に関する帳簿、伝票及び書類等の保存期間は、5年とする。

(雑 則)

第10条 肥料価格高騰対策事業実施要領（令和3年12月20日付け3農産第2156号農林水産省農産局長通知。以下「実施要領」という。）、北海道肥料コスト低減体系緊急転換事業推進協議会事務委託事業実施要領、協議会規約及びこの規程に定めるもののほか、この規程の実施に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

1 この規程は、令和○年○月○日から施行する。

### 別紙 3

#### 〇〇〇（協議会名は地域の実情で決める）推進協議会公印取扱規程（案）

##### （目 的）

第1条 この規程は、〇〇〇（協議会名は地域の実情で決める）推進協議会（以下「協議会」という。）における公印の取扱いについて、定めるものとする。

##### （定 義）

第2条 この規程において「公印」とは、協議会の業務遂行上作成された文書に使用する印章で、それを押印することにより、当該文書が真正なものであることを認証することを目的とする。

##### （種 類）

第3条 協議会の公印の種類は、次に掲げるものとする。

- 1 会長印：「〇〇〇（協議会名は地域の実情で決める）推進協議会印」  
寸法：24mm角印 字体：もう書体

##### （登 録）

第4条 会長は、公印を新たに調製し、再製し、または改印したときは、その印影を公印登録簿に登録しなければならない。

##### （交 付）

第5条 会長は、前条の規定により公印の登録を終えたときは、直ちにその公印を、第6条の公印管理責任者に交付しなければならない。

##### （公印管理責任者）

第6条 公印の適切な使用及び管理を図るため、公印管理責任者を置くこととし、事務局長がこの任にあたる。

##### （管 守）

第7条 公印管理責任者は、公印が適切に使用されるよう管理するとともに、公印が使用されないときは、金庫その他の確実な保管設備のあるものに格納し、これに施錠のうえ、厳重に保管しなければならない。

- 2 公印管理責任者は、公印登録簿を厳重に保管しなければならない。

(押 印)

第8条 公印の押印は、原則として、会長またはその委任を受けた者の指示により公印管理責任者が行うものとする。

(雑 則)

第9条 肥料価格高騰対策事業実施要領（令和3年12月20日付け3農産第2156号農林水産省農産局長通知。以下「実施要領」という。）、北海道肥料コスト低減体系緊急転換事業推進協議会事務委託事業実施要領、協議会規約及びこの規程に定めるもののほか、この規程の実施に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

1 この規程は、令和○年○月○日から施行する。